

第1回 原ブランド特産品認定審査委員会 会議録

令和4年9月22日(木)

原村役場 3階 講堂

午前9時～

審査委員会

商工会：岩波ふさ子、鎌倉 功

村観光連盟：佐宗利江、森 優、山本敦史

いきいき原村農業塾：村上香菜子

商工観光課：小池恒典課長、阿部祐子係長、牛山

1. 開 会…小池課長

2. あいさつ…小池課長

3. プレゼンテーション

1) Berry Farm 原村の清水さんち 清水俊明 様・・・・・・・・9:10 から

- ・ベリージャム
- ・ベリービネガー 説明

事務局：質問、ご意見等はありませんか。

特になし

2) アルル 佐宗利江 様・・・・・・・・9:30 から

- ・Haramura フラワーキャンドル
- ・Haramura ハーバリウム 説明

A委員：お花によって香りが違いますか。

佐宗さん：天然のエッセンシャルオイルで香りづけしています。ラベンダーやオレンジなど素材が香るものもあります。

A委員：部屋に飾るといい匂いがするのですね。

B委員：ハーバリウムは飾りということですか？

佐宗さん：インテリア、飾りです。

B委員：キャンドルも火をつけたりするものではなく、置いて飾るものですか？

佐宗さん：観賞用なのですが、簡単に出来るので作って楽しむ方も多いです。お店では手作り体験もできます。

事務局：通年作ることができますか？

佐宗さん：はい、可能です。

事務局：手に取って見ていただいはいかがでしょうか。

C委員：火をつけるとどれくらい持つでしょう。

佐宗さん：ろうそくの大きさにもよりますが、かなり長くついています。

事務局：名前をもうひとひねりしたら良いのではないのでしょうか。

佐宗さん：ネーミングセンスがないので良いものが浮かびません。

事務局：ペンションに配って置いてもらい、PRしても良いかも知れない。

C委員：透明にはなりませんか。

佐宗さん：レジンでかためれば透明なものは作れますが、これはロウソクですので、もうちょっと白くすることはできます。

事務局：いい香りがしますね。

C委員：細くして値段を安くすれば売りやすいのではないか。

A委員：でも、キャンドル専門店ではもっと高いものです。娘などが友達にプレゼントしたりしている。あまり金額は下げない方が良いでしょう。

C委員：1年で10個ですか？

佐宗さん：販売計画ということで記載いたしました。作ろうと作れるものですが、本業が生花店のため、夏など生花の販売が忙しくない時期に作っています。

B委員：花びらをもっと増やしたら見栄えがしそうですが。

佐宗さん：こちらは、原村にたくさんあるスターチスを使ったので、このデザインとなっています。スターチスは花びらだけがきれいで、ガクの部分を残すと茶色くなってしまいます。

C委員：他の色でもできますね。

佐宗さん：はい。ただ、薄い色は日焼けしてしまいやすいです。

事務局：作る時間はどれくらいですか。私たちにも作れますか。

佐宗さん：短時間で作れます。

D委員：ハーバリウムの色は劣化していきますか

佐宗さん：天然の植物なので、茎の部分が茶色くなってしまいます。日光にあてると特に色が変わってしまいます。オイルの質も影響があり、良いものを使っています。

B委員：ビンに棒をさして匂いがするもの（リードディフューザー）がありますが。あんな感じにしたら良さそうです。

佐宗さん：それも作ることは可能です。

E委員：おひとりで作られているのですか？ 資格者が製作とありますが。

佐宗さん：はい、私が資格を持っています。作るのに資格が必要なものではありませんが、研修を受け、安全性などを考慮して作っています。キャンドルの表面にお花が出ていると見栄えは良いですが、燃えてしまいます。

C委員：すべてロウソクなのですか？

佐宗さん：全部蠟なのですが、周りは減らず、中だけ減っていきます。中を LED にするものも作ることは可能です。

C委員：夜の足元に使うなら、LEDの方が安心です。

事務局：ここまでのプレゼンテーションについて、一度採点をしてください

採点について事務局説明

3) 木工房カフージュ 小林和孝 様・・・9:50から

・木製エコスピーカー 説明

A委員：大きいスピーカーの方が音が大きいのですか？

小林さん：音の大きくなり方は1.5倍ほどで変わりませんが、スピーカーが大きくなると音の広がりが変わります。大きい方が低音が響きやすくなります。

A委員：充電もできるのですね。

小林さん：大きい方は充電しながら使えます。クラフト市で展示しているとお客さんから色々なご意見を頂き、どんどん形が変わっています。個人で作っていますのでどんどん臨機応変にできます。

E委員：一番大きなものでおいくらですか。

小林さん：こちらで9500円です（当時）。

D委員：材質によって音の感じが変わりますか。

小林さん：広葉樹の硬い木材の方が音が響きやすいです。針葉樹を使えば安くはできるのですが響きが良くありません。木には水を吸い上げる導管というものがありますが、針葉樹はこれが太いため、音を吸い込み過ぎてしまいます。また、インテリアとして見た目を重視した良い木を使い、経年変化を楽しみながら使っていただきたいと考えています。

D委員：原村の木で使えるものはありますか

小林さん：日本の木を使うと見た目が和風になってしまいます。木の仕入れは原村ではなく他府県で、輸入木材です。

事務局：原ブランド特産品の条件の中には、原村の材料を使うというものもありますが、こちらは地域資源という枠の中で、あえて提出していただきました。

F委員：製作モチベーションは原村由来とのこと。原村らしさというところがあれば教えてください。

小林さん：原村に移住してきまして、村の雰囲気は北欧テイストだと思っています。そういう点で、商品が原村の景色に合うと思います。また、原村の景色を見ながら新しい商品を考えています。

事務局：手に取って見てもよろしいですか？

A委員：個人的に欲しいと思います。置いたら充電できるような機械がついていた

ら最高ですが。Bluetooth機能はないですか。

小林さん：エコスピーカーと呼ばれており、スマホとこれさえあれば使えるという製品で、充電も色々な方法がありますので(電氣的なものは装着していない)。

B委員：店舗にこういうのがあったらかわいいと思うのですが家庭用でしょうか。

小林さん：喫茶店やカフェで置いている方もいらっしゃいます。女性の購入が多いのですが、調理される時などに近くに置いて音楽を楽しんだり、動画レシピを見ながら使ってくださいそうです。お子さんが映像を見る時に使ったりもするようです。

C委員：この木は素材そのものですか？

小林さん：保存用のクリアオイルは塗っていますが、木の本来の色です。

D委員：この製品は小林さんのオリジナルですか？

小林さん：仕組みとしては多くの方が同じようなエコスピーカーを作っていますが、デザインは私のオリジナルです。スマートフォン用のスピーカーが出始めた頃から作っていますので私どもは老舗と言っても良いかと思えます。スマホに手帳型のカバーをしたままでも使えるという点も強みです。

事務局：以前家具を作っていた技術がベースにあるということが芸術性につながっていると思います。

小林さん：通販サイトでも「お気に入り」にされている数が多いなど訴求力もあるかと思えます。原村のふるさと納税の返礼品にもなっていますので、原ブランドとしても、認定していただけるようお願いいたします。

C委員：クラフト市以外では販売していますか？

小林さん：雑貨店さんには置かせていただいています。原村では fil さん、富士見のストーブ生活さんです。

F委員：スピーカーの位置が右側じゃないといけないのですよね。

小林さん：はい、iPhone など現在は世界基準で右側となっており、アンドロイド携帯もほとんどが対応できます。ソニー、シャープなどの一部の国産ブランドのスマホは機種によって合わない場合があります。今後は、スピーカーの位置が変わっても使えるものを開発したいと思っています。

B委員：形は一緒でも、木目が全部違うのですね。それが喜ばれると思います。

小林さん：一点ものの商品です。好みの木目を選んでいただくことで「自分だけのもの」という感覚をお持ちいただけるかと思えます。

5. 認定審査

審査

事務局：委員6名の2/3以上、4名以上の賛成で認定となります。アルルの佐宗さんに関しては委員でいらっしゃるご本人を除いた5名の審査のうち4名以上と

なります。ただいま集計したところ、すべての商品で全員一致の認定となりましたのでご報告いたします。

6. その他

事務局 今回、全商品認定されましたので迅速に村長決裁を得ましてホームページなどに掲示していきたいと思えます。また、委員の皆さんの任期が1年間ということで次回2月の審査においては再任・交代ということもあるかと思えます。次回も委員になられた方は、どうぞよろしく願いいたします。

7. 閉 会…小池課長